特別企画

新宿区百人町に在住しポスターを多く描いた日本画家・町田隆要（まちだ りゅうよう 1871~1955）を紹介します。

町田隆要「大阪商船株式会社絵はがき」

本年は大正12年（1923）9月1日に起こった関東大震災から100年目にあたります。この地震のマグニチュードは7・9、死者、行方不明者の数は10万5千人余り、日本の災害史上最大の被害をもたらしました。死者の9割は東京東部で起きた火災によるものでした。新宿区地域は大きな火災は起こらず、死者、行方不明者は430人余りとされています。この地震の後、被害が大きかった東京東部から東京西部に移住する人が多く、同時に、この時期私鉄各線も新宿駅から西に路線を広げたこともあり、新宿駅周辺は大きく発展しました。

本展示では、地図、絵画、写真により関東大震災の被害を示すとともに、新宿区地域の救護活動、新宿駅周辺に進出したほてい屋などデパートの資料も併せて展示します。

関東大震災時警戒線通行票

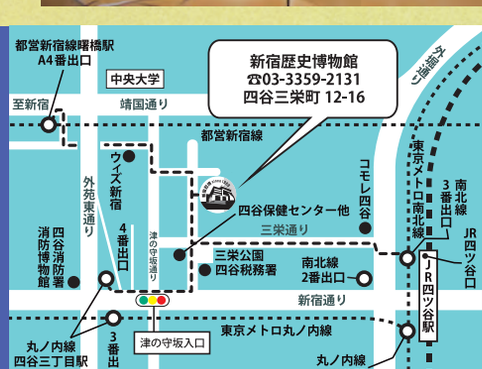
震災地人口調査記念銀杯

堀潔「関東大震災直後新設の三越新宿マーケット」

展示解説
担当学芸員によるギャラリートークは
第1・3土曜日
13時～30分程度

ほてい屋七福神屏風（部分）

関連講座

関東大震災から100年ー地震に備えてー

日　時　8月26日（土）14:00～16:00（受付13:30～）
会　場　新宿歴史博物館 2階講堂
講　師　武田英二（東京消防庁消防防災資料センター消防博物館館長）
定　員　90名
料　金　1,000円
締　切　8月6日（日）必着
問合せ　新宿歴史博物館 Tel 03-3359-2131
申　込　往復はがきに講座名・住所・氏名・電話番号・メンバーズ倶楽部会員の方は会員番号を明記の上、新宿歴史博物館へ。
1応募につき1名。当館ホームページからもお申込みできます。